



操法開始直前 緊張の一瞬



大仙市女性消防隊健闘 第二二回全国女性消防操法大会

題 字
初代会長 松野 盛吉
定 価 1部 48円
(購読料は年会費に含む)
発行人
〒010-0951
秋田市山王四丁目1番2号
秋田地方総合庁舎内
秋田県消防協会
会長 中田 潤
電話 018-867-7320
FAX 018-863-5910
<http://www.shoubou-akita.or.jp>
E-mail:ask@shoubou-akita.or.jp

印 刷
〒010-0951
秋田市山王7丁目5-29
株式会社 松原印刷社
電話 018-862-8760
<http://www.matsubarainsatsu.co.jp>

第二二回全国女性消防操法大会は、一〇月一五日(木)横浜市戸塚区の「横浜市消防訓練センター」において開催されました。本県代表の大仙市女性消防隊は、二大会連続出場で前回より総合得点を2点上回り、順位も8位上げて、18位と大いに健闘しました。開会式に先立ち、中田秋田県消防協会会長から選手に対して激励のあいさつがありました。また、開会式では秋本日本消防協会会長が「この大会を通じて身に付けられた皆さんの技術力、そして体力、気力、団結力は、これからの地域防災力強化においても必ずや大きな推進力になると思います。代表の皆さんは、地元の皆さんの応援を背に、これまでの訓練で鍛えた力を十分に発揮し、今後の地域防災力強化への大きな弾みにして頂くよう心からご期待申し上げます。」と述べられました。

■成績順位表

順位	都道府県	消防隊名称	タイム(秒)	総得点
1	優勝	福岡県 福岡市早良女性消防隊	49.81	83.0
2	準優勝	山口県 下関市女性消防隊	53.67	80.0
3	準優勝	栃木県 小山市女性消防隊	48.60	78.0
4	優秀賞	埼玉県 鴻巣市女性消防隊	52.68	78.0
5	優秀賞	富山県 小矢部市女性消防隊	56.72	78.0
6	優秀賞	長崎県 佐世保市女性消防隊	49.76	77.0
7	優良賞	兵庫県 南あわじ市女性消防隊	51.79	76.5
8	優良賞	山梨県 甲州市女性消防隊	52.80	75.0
9	優良賞	佐賀県 嬉野市女性消防隊	51.93	74.5
10	優良賞	岐阜県 七宗町女性消防隊	52.36	73.5
11	優良賞	広島県 東広島市女性消防隊	52.92	73.5
12	優良賞	京都府 京都市左京女性消防隊	52.23	72.5
18	敢闘賞	秋田県 大仙市女性消防隊	59.96	68.5



会長激励あいさつ

平成二十七年全国統一防火標語
無防備な
心に火災が
かくれんぼ

■成績順位表

番員	コース	都道府県	消防隊名称	選手名
指揮者	1	千葉県	柏市女性消防隊	裕富由美子
	2	富山県	小矢部市女性消防隊	西野 宏実
1番員	1	埼玉県	鴻巣市女性消防隊	関口 萌美
	2	鹿児島県	和泊町女性消防隊	森 美沙都
2番員	1	千葉県	柏市女性消防隊	小川友佳織
	2	岩手県	盛岡市女性消防隊	石川 恵子
3番員	1	熊本県	八代市女性消防隊	宮本 結花
	2	福岡県	福岡市早良女性消防隊	鬼木ちはる
4番員	1	福島県	田村市常葉女性消防隊	三浦真由美
	2	富山県	小矢部市女性消防隊	宮田 睦子



■全国大会に出場して



隊長
班長・佐藤美佳子
思いがけず二回連続で出場することになり、周囲に

対して心苦しさもありましたが、新たなメンバーも加わり、二年前と比べて良い操法を追求できたのではないかと思います。
今までご支援下さった皆様方に感謝します。



指揮者
班長・一色 順子
皆様からの応援と励ましが、沢山の気付きとなり、

色々な面で操法の大切さを実感いたしました。

この素晴らしい体験を今後の活動へと繋げ生かしていきます。大勢の方からのご支援、ご指導に心より感謝いたします。



一番員
団員・畠山 忍
応援して下さいました皆様と、指導して下さいました消防署

の皆様は、深く感謝しております。本当にありがとうございました。そして、仲間達に恵まれたことを誇りに思います。



二番員
団員・相馬 静華
全国大会への参加は前回と二度目になりますが、自

身の体力との戦いでもありました。応援に支えられ、再度挑戦できたことと、大会に携わりお力添えをいただいた皆様と選手には、とても感謝しています。
ありがとうございました。



三番員
団員・佐藤 久子
二度目の全国女性操法大会、アツ

という間に本番が終了、これで終わったという安堵感と、これまで支えてくださった関係者の皆様、家族、メンバーに感謝しています。

操法に、より多くの方々が携わることが願っております。



四番員
団員・深澤 貴子
緊張や不安が沢山ありましたが、無事大会を終えることができました。



このような貴重な経験をさせていただき、操法する中で指導協力、アドバイスをして下さいました全ての皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。
ありがとうございました。



補助員
団員・伊藤 優子
一つの目標に向かって何かを成し遂げることは、私

にとつて学生以来でしたので、とても刺激のある日々でした。

当日は天候に恵まれ、皆ベストの状態で挑めたと思います。

私達に携わってくれた、全ての方々に感謝申し上げます。



■出場隊の世話役(上) 団員・鈴木美也子 下 団員・茂木未来



■指導員の報告(大曲消防署 消防司令補 佐藤譲)

① 操作タイムが五〇秒を切る隊が数隊有り、上位チームは県大会を実施しているようでレベルも高い。
② 男性操法と違い規律よりスピード重視のように感じた。

③ 今回の出場隊員は、指揮者と一番員、二番員、三番員は前回大会と同隊員であったが、四番員と補助員を入れ替え大会に臨んだ。

競技の感想は、スピード感にはやや欠けるものの、規律もよくバランスがとれ、全体的に丁寧な操作を行っていた印象だった。

④ 他隊を観察すると、出場隊員以外の隊員が多数活動しており、資機材の検査準備や事前練習の手伝いなど後方支援が充実していた。



平成二七年秋の叙勲・褒章 第二五回危険業務従事者叙勲

平成二七年秋の叙勲・褒章及び第二五回危険業務従事者叙勲の受章者が一月三日(火)に発令されました。

本県の消防関係では、秋の叙勲で二〇名、褒章一名、危険業務従事者叙勲で九名が受賞されました。一月四日(水)午後一時三〇分から秋田県正庁において知事の伝達式が行われました。

また、消防庁長官の伝達は、秋の叙勲が一月一日(水)ニッショーホール、危険業務従事者叙勲が一月九日(月)日比谷公会堂、褒章が一月一三日(金)スクワール麴町で行われ、それぞれ叙勲・褒章伝達後、皇居において拝謁が行われました。

受章者の皆様、誠におめでとうございます。



知事の伝達式

平成二七年秋の叙勲

◆瑞宝単光章(二〇名)

元大館市消防団

分団長 安部一男

元秋田市消防団

副団長 榎 政良

元増田町消防団

副団長 小野寺 金十郎

元三種町消防団

副団長 鴨田 道幸

元美郷町消防団

分団長 小林 正敏

元大仙市消防団

副団長 小松 正

元秋田市消防団

分団長 佐々木 征男

元北秋田市消防団

副団長 庄司 林兵衛

元秋田市消防団

副団長 進藤 吉兵衛

元秋田市消防団

副団長 鈴木 為彦

元神岡町消防団

副団長 鈴木 久雄

元合川町消防団

副団長 關 多悦

元大仙市消防団

副団長 高橋 尊雄

元羽後町消防団

分団長 照井 久男

元天王町消防団

分団長 戸田 秋一

元横手市消防団

分団長 中川原 誠策

元仙北市消防団

副団長 橋本 左武郎

元五城目町消防団

副団長 畑澤 甚一

元田沢湖町消防団

副団長 藤川 健一

元大仙市消防団

分団長 藤田 昭義

第二五回危険業務従事者叙勲

◆瑞宝双光章(六名)

元秋田市消防本部

消防司令長 石塚 映

元能代山本広域市町村圏組合消防本部

消防司令長 加藤 誠一郎

元湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部

消防司令長 高橋 義行

元秋田市消防本部

消防監 土 館 隆 司

元にかほ市消防本部

消防司令長 中津 博行

元大曲仙北広域市町村圏組合消防本部

消防司令長 松井 好文

◆瑞宝単光章(三名)

元横手市消防本部

消防司令 阿部 良一

元北秋田市消防本部

消防司令 小林 金四郎

元湖東地区行政一部事務組合消防本部

消防司令 高橋 義明

平成二七年秋の褒章

◆藍綬褒章(一名)

現大潟村消防団

副団長 池田 彰



各地域における総合防災訓練の実施状況

能代市山本郡

開催日	平成27年5月26日 (火)
開催地	能代市地区 (能代市立東雲中学校)
訓練想定	<ul style="list-style-type: none"> ・5月26日(火)午前9時40分、巨大地震発生。 ・能代市では震度6弱を観測。 ・大津波警報が発表。 ・向能代地区では火災が発生。能代市全域においてライフラインにも大きな被害が生じた。
主な訓練内容	<ul style="list-style-type: none"> ・防災行政無線広報、聴覚障害者対応訓練 ・倒壊建物救出、応急救護所設置訓練、街区火災防ぎょ訓練、情報共有拠点設置運用訓練、安否確認訓練 ・避難所及び福祉避難所運営訓練、災害ボランティア支援訓練
参加人員	576人 (21機関・団体)



鹿 角

開催日	平成27年9月27日 (日)
開催地	鹿角市花輪地区
訓練想定	<ul style="list-style-type: none"> ・9月27日(日)午前9時30分頃、震度7の地震が発生。 ・震源地は花輪東断層帯が存する花輪中心地で、震源の深さは10キロメートル、地震の規模はマグニチュード7.0と推定。
主な訓練内容	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉施設と自主防災組織の連携訓練 ・煙体験訓練 ・ショートステイ「はなわあいの」避難誘導訓練 ・援護、消火、炊き出し訓練 ・通信訓練 (NTT、ドコモ)
参加人員	376人 (8機関・団体)



男鹿潟上南秋

開催日	平成27年11月5日 (木)
開催地	大潟村全域
訓練想定	<ul style="list-style-type: none"> ・早朝より風が強く、大潟分署及び大潟村消防団では管内の総合中心地を中心に消防車両で警戒、大潟村では防災行政無線により広報に努め、火気使用の注意を促し、防火を呼びかけている。 ・午前9時55分頃、秋田県沖を震源地とする震度6弱の地震が発生、村内全域に被害が発生した。
主な訓練内容	<ul style="list-style-type: none"> ・広報伝達訓練、避難誘導訓練、災害対策本部設置運用訓練 ・避難誘導訓練、火災防ぎょ訓練 ・水難救助訓練及び消防防災ヘリによる吊り上げ救助搬送訓練
参加人員	800人 (24機関・団体)



大館北秋田

開催日	平成27年8月23日 (日)
開催地	大館市比内地区
訓練想定	<ul style="list-style-type: none"> ・8月23日(日)午前6時、秋田沖においてマグニチュード8.7の地震が発生、大館市比内町では震度6強の揺れを観測した。 ・災害対策本部を設置し情報収集したところ、家屋等の倒壊や火災、危険物流出事故が発生、避難、安否確認及び負傷者の救出、救護活動を開始した。
主な訓練内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市民総合訓練、情報収集訓練、火災防ぎょ訓練、災害対策本部設置・運営訓練、避難所開設運営訓練、倒壊建物救出訓練 ・防災ヘリ吊り上げ訓練、地震体験訓練
参加人員	290人 (22機関・団体)



平成27年度秋田県総合防災訓練は8月9日(日)、秋田県、仙北市、消防、警察、自衛隊など55機関から約1,700人が参加し、仙北市内で行われました。(秋田県総合防災課調)

★紙面の関係で、大仙仙北美郷支部の状況は、8頁に掲載しております。

横 手 市

開催日	平成27年9月13日 (日)
開催地	横手市十文字地域
訓練想定	<ul style="list-style-type: none"> 9月13日(日)午前9時頃、マグニチュード8.1の地震が発生したが、幸い家屋倒壊等の発生はない。 しかしながら、ライフラインに大きな被害が発生し、市内全域で復旧に1週間程度要する。
主な訓練内容	<ul style="list-style-type: none"> 避難支援
参加人員	150人 (11機関・団体)



秋 田 市

開催日	平成27年9月1日 (火)
開催地	秋田市御所野地区
訓練想定	<ul style="list-style-type: none"> 9月1日(火)午前7時30分、日本海沿岸部を震源とする非常に強い地震が発生し、秋田市では震度6強を観測した。 市内各地域で建物倒壊や火災が発生しているほか、土砂崩れによる多数の行方不明者及び死傷者が出ており、多くの市民が避難場所に避難している。
主な訓練内容	<ul style="list-style-type: none"> 大型商業施設避難訓練、中高層建物火災防ぎょ及び救助、救出訓練、航空機等からの救助、救出訓練 土砂災害対応訓練、車両及び倒壊建物からの救助、救出訓練 避難所運営訓練、福祉避難所設置運営訓練
参加人員	1,500人 (39機関・団体)



湯 沢 市 雄 勝 郡

開催日	平成27年9月2日 (水)
開催地	湯沢市湯沢地域
訓練想定	<ul style="list-style-type: none"> 9月2日(水)午前6時57分、横手盆地東縁帯南部断層を震源とする震度6強の地震が発生、震源の深さは約15km、マグニチュード7.3と推定。 被害状況は不明、現在も断続的な余震が発生している。
主な訓練内容	<ul style="list-style-type: none"> 災害対策本部設置運用訓練、消防本部機能移転訓練 情報伝達訓練、街区火災防ぎょ訓練、座屈倒壊建物からの救助訓練 合同避難連携訓練、避難所開設運営訓練
参加人員	300人 (27機関・団体)



由 利 本 荘 に か ほ

開催日	平成27年9月5日 (土)
開催地	由利本荘市西目地域
訓練想定	<ul style="list-style-type: none"> 9月5日(土)午前8時頃、秋田県沖を震源とする震度6弱の地震が発生、東由利地域では震度7を観測。由利本荘市は災害対策本部を設置する。 大津波警報が発令された。
主な訓練内容	<ul style="list-style-type: none"> 津波避難、誘導訓練 火災防ぎょ訓練 避難所運営訓練
参加人員	500人 (13機関・団体)



第五期 女性消防団員研修

秋田県消防学校



第五期女性消防団員教育は、一月七日(土)、八日(日)の二日間、秋田県消防学校(由利本荘市岩城)において県内六消防団から一四名が参加して行われました。

入校式で、秋田県消防協会中田潤会長は「女性消防団員は年々増加しており、五年前の平成二二年と比較し、女性団員を採用している消防団は一一団増え二一団となり、団員数も実に二倍を超える一八五人増の三

六一人となつてゐる。また、消防活動においても、地域住民の安心・安全に対する関心の高まりなどで、

その内容も多様化、専門化してきており、とりわけ女性消防団員には、住宅用火災警報器の普及促進、独り暮らしの高齢者の訪問、住民に対する防災教育や応急手当の普及指導の面での活躍が期待されている。一と述べられました。

■ 研修内容

講話(県消防協会長)

消防活動訓練(訓練礼式、消火訓練、結索訓練、ホース延長、放水要領、救急訓練、応急手当講習)

消防団の活性化(秋田市消防本部)



■ 意見交換 受講生名簿

湯沢市	湯沢市	横手市	横手市	横手市	横手市	横手市	横手市	横手市	横手市	由利本荘市	由利本荘市	男鹿市	男鹿市	鹿角市
湯沢市	湯沢市	横手市	横手市	横手市	横手市	横手市	横手市	横手市	横手市	横手市	横手市	横手市	横手市	横手市
井上清子	小松明日香	川越美香子	高橋恵美	畑しのぶ	木村節子	工藤美穂	伊勢睦子	向井義子	佐藤めぐみ	佐藤美子	和田広美	鎌田美萌	加賀紗由里	

消防半旗・団旗
優勝旗・ゼッケン
手拭・タオル・のれん
旗幕類名入染物専門

寺 田 染 工 場

横手市清川町 ☎32-0416

トーハツ消防ポンプ
モリタ自動車ポンプ
消防被服全般
秋田県代理店

総合防災設備センター

株式会社 高 義 商 会

(営業種目) トーハツ小型動力ポンプ
モリタ自動車ポンプ
ジェットホース
消防被服全般
消防被服全般
火災報知器各種
消火器各種



〒012-0105 本社 湯沢市川連町字万九郎屋布32
TEL(0183)(42)2125
〒012-0844 湯沢市田町 TEL(0183)(73)2588

株式会社 夕 力 吉

秋田県横手市寿町1番28号
TEL (0182)(32)3880

(営業種目)

日本機械自動車ポンプ | キンパイホース
トーハツポンプ | シバウラポンプ
各種消防機械器具 | 各種消火器
消防設備保守点検

ホームページ <http://www.17.ocn.ne.jp/~takagi/>
E-mail ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp

平成27年度 防火ポスターコンクール募集要項

- 1. 目的** 少年少女の防火意識を高めるとともに、一般県民の防火思想の普及啓発を図ることを目的とする
- 2. 主催** 秋田県・(公財)秋田県消防協会
- 3. 後援** 秋田県教育委員会・秋田魁新報社・NHK秋田放送局
- 4. 募集規定**
- (1) ポスター
 - イ 色数、表現方法は自由とし、防火思想の普及に適するものであること
 - ロ 大きさはB3版又は画用紙四つ切大(54cm×38cm)程度であること
 - ハ 一人一点とする
 - (2) 応募資格 県内の小・中学校の児童生徒
 - (3) 募集期間 平成27年11月1日～12月31日(12月31日の消印有効)
 - (4) 審査 学識経験者・秋田魁新報社・NHK秋田放送局・秋田県(公財)秋田県消防協会で構成する審査会において行います。
 - (5) 入賞発表 平成28年2月上旬頃、秋田魁新聞紙上にて発表
 - (6) 賞 次の入賞者には、学校を通じて賞状と図書カードを贈呈します。
小学生の部 一席1名、二席2名、三席3名、佳作10名まで
中学生の部 一席1名、二席2名、三席3名、佳作10名まで
一席5,000円 二席3,000円 三席2,000円 佳作1,000円
- 5. 募集条件**
- (1) 応募は未発表の作品に限る。
 - (2) 応募作品は原則として返却できません。(返却を希望される場合、選外作品に限り送料着払いにてお返ししますので、事前にお申し出ください)
入賞作品の著作権は主催者に帰属します。
 - (3) 募集規定に違反した作品は採用いたしません。
 - (4) 作品には市町村名、学校名、学年、氏名(ふりがな)、性別を記入した**名札(たて6cmよこ20cm程度)を作品の右下に必ず貼り付けてください。**
【記入例】 ※ふりがなは必ずご記入ください。

市町村名	学 校 名	
	(ふ り が な)	性
学 年	氏 名	別

- 6. ポスターの作製**
一席に入賞した作品どちらか1点で防火ポスターを作製しますので、**作者の学校名・学年・氏名をポスターに記載することを予めご了承ください。**
- 7. 送り先** 〒010-0951 秋田市山王4-1-2 秋田地方総合庁舎5階
(公財)秋田県消防協会あて お問合せ先 TEL 018-867-7320
※ 作品を送付される場合、送料は応募者をご負担ください。

平成26年度作品



仙北市立松木内小学校
門脇 帆渚さん



美郷町立美郷中学校
伊藤 日菜さん



三種町立浜口小学校
かがや ゆうきさん

平成25年度作品



大仙市立太田中学校
高橋 奈々さん

支部情報アラカルト

東日本大震災の被災地を視察

「風化させないために」

能代市山本郡支部では、八月二二日、東日本大震災の被災地である、宮城県名取市閑上地区を支部役員等二二名が参加し、視察研修を実施しました。

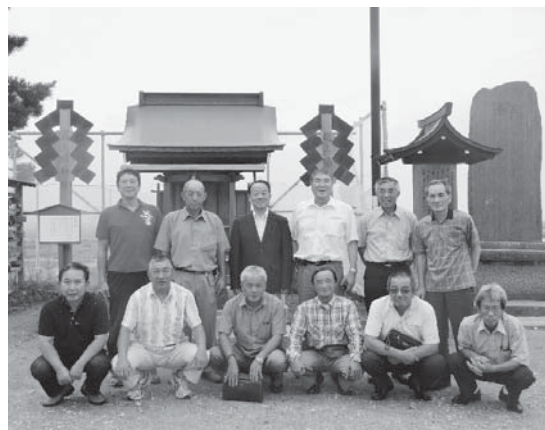
名取市閑上地区の閑上神社の隣には、「東日本大震災」というモニユメントがあり、生えたばかりの芽の形で、その高さは閑上を襲った津波と同じ、八・四メートルの高さだということでした。

閑上地区を見守り続けている「閑上の記憶」という施設では、資料館としては勿論、記帳所やカフェとしての機能を持ち合わせており、講話が開催されるなど、シアタールームでは当時の様子の映像も視聴できました。

施設の方は、「この震災を風化させないために。」と懸命に説明をしてくださいました。

また、津波で校舎の一階部分が浸水するなど大きな被害を受けた閑上中学校の時計は、地震発生時刻の午後二時四六分を指したまま止まっております。閑上小学校及び中学校は、小・中一貫校として、平成三〇年四月の開校を目指しており、一日も

早い復興を役員一同、心からお祈りし視察を終えました。



〔情報提供〕能代市山本郡支部

大仙仙北美郷

開催日	平成27年6月19日 (金)
開催地	大仙市太田地域
訓練想定	<ul style="list-style-type: none"> ・6月19日(金)午前9時10分頃、真昼山地区を震源とする横手盆地東縁断層帯北部地震が発生し、太田地域では震度6強を観測した。 ・この地震により建物倒壊やライフラインの断絶、市内の公共施設にも甚大な被害が発生した。
主な訓練内容	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練(シェイクアウト)、現地災害対策本部設置訓練 ・倒木被害救出訓練、土砂災害救出訓練 ・救援物資搬送訓練、避難所開設訓練、AED操作訓練、炊き出し訓練
参加人員	800人(36機関・団体)



火災の発生状況(速報値)

(秋田県総合防災課調べ)

	平成27年		平成26年			同期比較	
	10月	累計	10月	累計	年計	10月	累計
建物	25	170	18	172	199	7	-2
林野	2	35	0	46	46	2	-11
車輦	4	39	3	28	29	1	11
その他	4	79	3	65	77	1	14
合計	35	323	24	311	351	11	12
死者数	2	34	2	29	35	0	5
負傷者数	3	67	3	61	61	0	6

森田ポンプ ラビットポンプ
桜ホース・ソフト吸管 消防被服一式
各種消火器 消防機器一式

株式会社 能代消防センター
株式会社 協立

〒016-0814 能代市能代町字中川原33番地57
TEL (0185) (52) 6494
(52) 6361

地域の防災、災害対策に貢献!

消 防
ポンプ自動車
小型ポンプ
ホース

設 備
火災報知器
スプリンクラー
消火器

猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目1番24号 TEL 018 (863) 1551(代)
山王セントラルビル7F FAX 018 (824) 3651